

DIALOGUE 16

2014年4月21日 発行

『Dialogue』とは『対話』を意味し16期学年団が対話型教育を目指すところから名づけられました。

学年目標 「規則正しい生活習慣を身につけ、様々な視点から物事を考えることができる」

中学16期生の保護者の皆様、あらためましてお子様のご入学おめでとうございます。本校体育館での入学式が4月7日に行われ、16期生204名の生徒が新しく芝柏生に加わりました。一人一人が呼名されている間も緊張の中に期待と決意を感じました。4月8日には始業式と対面式が行われ、上級生である2,3年生から各クラスに花鉢が贈られました。9日からの3日間は身体計測、耳鼻科検診、学力推移調査、教科書・パソコンの配布、学習ガイダンスが行われ、2時間に及ぶ集会も多くの先生の話をしっかり聞くことができました。昼食時は担任、副担任とともに笑顔で会話しながら過ごし、少しリラックスできた様子でした。

挨拶がしっかりできるようになることの必要性や、学年目標を達成するためには、①3点固定(勉強開始時間、就寝時間、起床時間)②目標を高く掲げ、最後まであきらめない③幅広い知識で様々な価値観を認め合う、の三つが必要であると集会で話しました。具体的には日々 1.読書をする 2.部活動など夢中になれるものを見つける 3.授業に積極的に参加する 4.お互いを認め合い、意見が異なることを悪い事だと思わない 5.物事の変化に気づく、の五つを意識することの必要性にも触れました。授業が始まって1週間ほど経ちますが、生徒は集中力を保ち、とても上手に意識の切り替えができています。我々1学年担任団も全力でサポートする所存でありますのでよろしくお願いいたします。

16期生学年主任

学年担任団からのメッセージ

主任 安江 慶二(英語)

「英語漬け」計画は進んでいますか。授業だけが英語ではありません。むしろ日常の中にいかに英語を取り入れていくかが、重要です。授業のガイダンスでも話しましたが、身の回りの道具や興味のあることを英語に向けましょう、それも遊び心を持ってください。たとえば、テレビのスポーツニュースは二カ国語放送で副音声の英語で見る、BBCやCNNなどのニュース番組を見る、好きなDVDを見てせりふを覚える、音楽は洋楽を聴く、英字新聞を読む、など様々なことが英語で行えます。興味のあることは積極的に取り組みましょう。繰り返しのようになりますが、英語は「音」から最初に覚えてください。12歳から15歳は音をそのまま覚えることができ、自然な発音ができる年齢です。今がチャンスです。どんどん生の音に触れていきましょう。

1-A 高橋 哲也(技術)

パソコンは気に入ってくれましたか。これから1年間かけて設定したり、ソフトをインストールしていきます。自分のものですから、自分でしっかり管理し大切に扱ってください。2年生になるといよいよWebコンテストにエントリーします。今のうちにパソコンの知識をつけて全国最優秀賞を狙っていきましょう。まず1年生は学校紹介ページを作っていきます。

1-B 東 弓恵（保健体育）

いよいよ、中学校生活が始まりました。どうですか？思っていたよりも大変？楽勝？

これから様々な事がありますが、あわてずゆっくり解決をしていってください。「無理」と思ったらそこで終わってしまいます。もう限界というところの先に見えてくるものがあります。何事もあきらめず、全力で頑張っていきましょう。

1-C 芝辻 正（数学）

マイケル・ジョーダン「10本連続でシュートを外しても僕はためらわない。次の1本が成功すれば、それは100本連続で成功する最初の1本目かもしれないだろう。」

NBAの伝説的プレイヤーの言葉です。失敗しても、次の一歩を踏み出せるかで勝負は決まります。立ち止まったら成功はありませんが、前へ進み続ければ身を結ぶこともあるでしょう。

皆さんが人の失敗を笑う人ではなく、人が失敗した時に優しく手を差し伸べられる人になってくれることを期待します。

1-D 太田 朋子（国語）

「津波てんでんこ」という言葉があります。「津波が来たら肉親にも構わずに、各自てんでんばらばらに一人で逃げろ」という意味だそうです。そこにあるのは自分勝手な思いではなく、家族も必ず一人で高台に向かうから、それを信頼してあなたも同じようにしなさい、という信頼関係です。信頼に支えられた関係はうんと強くなります。私たちはチームです。まずはそれぞれが中学校生活を通じてたくさんの知識を得、自分の世界を広げ、自立した個人になりましょう。そして相手を信頼しましょう。相手の信頼に足る自分でいられるよう努力しましょう。信頼に支えられたよいチームになることを期待しています。

1-E 高林 宏之（数学）

中学校生活が始まって約2週間。生活には慣れましたか？早く慣れて、自分の生活リズムを確立しましょう。

「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れる。」

ホンダ創設者、本田宗一郎さんの言葉です。様々なことにチャレンジし、失敗から多くのことを学びましょう。失敗は人間を大きく成長させます。勉強、部活動、グリーンスクール、・・・、みんなのチャレンジに期待しています。

副担任 白坂 琢（保健体育）

「人は自分の持っている知識の量に対応するものしか見えない」と言った人がいます。同じものや事柄を見ていても、知識をたくさん持っていないと、その意味や価値に気付くこともできません。勉強を頑張ることや本を読むのはもちろん、好き嫌いをせずできるだけたくさんの人と話すことや色々な経験をすることも、知識を蓄えるのに大いに役立つことでしょう。仲間を大切に頑張りましょう。

副担任 松本 嘉幸（理科）

16期の理科Aを担当する松本です。中1は1年間かけて植物と動物の範囲について学習します。C組の自己紹介でも話題にした、本校に蔵書がある「アブラムシ入門図鑑」を見てもらうと私の「人となり」がわかると思います。みんなに生物の素晴らしさが分かってもらえるよう授業でも努力したいです。まずはご期待下さい。

副担任 栗原 萌 (国語)

国語は知っての通り言葉を扱います。例えば、何かいやな事があった時、胸の辺りがもやもやしますよね、「悲しい」「苦しい」などと感じます。そうしてもやもやに言葉を与えることで思想を深めることができます。よりよく生きる力を身につけられるよう、一緒に国語を楽しみましょう。

副担任 濱口 真那 (英語)

「英語って、どんな授業なんだろう」と思っているのではないのでしょうか。新しい言語に触れることは見聞を深め、多くの考えや人の生き方に触れる機会を増やしてくれるはずです。英語を学ぶのでなく、英語で何を学ぶか、何を伝えたいのか、そういったことを考えながら、楽しい授業をみなさんとつくっていきたいです。

～教科担当表(2014年度 中学1年)～

		A組	B組	C組	D組	E組
国語	国語 A	栗原		太田		
	国語 B	太田		栗原		
	M 漢文	太田		栗原	太田	栗原
	M 読書	関口				宇井
数学	幾何	芝辻	高林			芝辻
	代数	高林	芝辻			高林
	M 数学	芝辻	高林			芝辻
英語	英語 A	安江		濱口		
	英語 B	濱口		安江		
	英会話	バスケス・マッケンタイア				
	M 英語	宮本				小林二
社会	地理	宮本			野村	
	歴史	小林菜			篠崎	
理科	A	松本嘉				
	B	久保	小林二			
音楽	坂倉	岩瀬				
技術	高橋・増本				高橋・新井	
家庭科	中嶋			宮崎		
美術	江森	大塩				
体育	三輪・白坂・東・久松・猪狩 鈴木・村松・宇井 (A, B, E) 堀端 (C, D)					

みんな健康



身体について知ろう。ということで、ここでは身体について話しをして行きたいと思います。

皆さんは、小学校を卒業するまでどのくらい身長が伸びたり体重が増えたりしましたか？

人間には、大人になるまでに2度、急に発育する時期があります。これを発育急進期といいます。1度目は、赤ちゃんの頃。2度目は正しくこれからの時期です。一般的には、男子より女子の方が早くきますが、時期や程度には個人差があります。

この時期は、身体の発育だけではなく心も大人に近づいていく時期です。食事・運動・休養などをきちんと取り、様々な経験をすることで、毎日の生活を健康的なものにして身体をさらに発育・発達させることが大切です。では、どのように食事や運動、休養をとればよいかは、次回お話したいと思います。



See you next time ...

英語科 WORDS OF WISDOM

Friday, February 21, 2014 The Japan Times ST より

In three words I can sum up everything I've learned about life: it goes on.

-Robert Frost

(訳)私は人生について学んだすべてを3語で集約することができる。「人生は続く」。

Note: in~words ~語で、 sum up~ ~をまとめる、 (have) learned 学んだ、 goes on 続く

おすすめスポット

RiSuPia(リスピーア)

住所：東京都江東区有明3丁目5番1号パナソニックセンター東京内

みなさんは素数をご存知ですか？素数は簡単に言えば、1とその数字でしか割り切れない数です。RiSuPiaにはこの素数を使ったゲーム、「素数ホッケー」が存在します。「素数ホッケー」は素数以外の数字を打ち返して得点を競います。例えば2, 5, 7, 14...と数字が流れてくるとすると、14の時に打ち返せばよいわけです。最初の内は簡単ですが、だんだん難しくなってきます。3桁の数字になってくると瞬時に判断するのが難しくなってきます。やりごたえのあるゲームですね。そのほかにも「光の知究儀」「ウォーターフライト」「カラーチェンジボール」といった近未来的な施設が目白押しです。ぜひ、GW などのお休みを利用してお出かけしてみてもいいのではないのでしょうか？

※フロアによっては有料になっているようなので、HP でよく確認しましょう。

国語科連載 (序章)

一年生の皆さん！一週間授業を受けてみていかがでしたか？芝柏の入試を突破してきた皆さんは、中学の勉強に好奇心でいっぱいのことと思います。

これから芝柏で六年間勉強をし、高校を卒業するころには現在の皆さんのように大学への期待で胸がいっぱいなのでしょう。しかしその頃には現在の皆さんよりたくさん知識、考える力が身につけていなければなりません。小学校でも口ずっぱく言われたと思いますが、知識や考える力は一日にして成りません。積み重ねが大切です。例えば皆さんは小学一年生のとき足し算引き算を習いましたね。しかし現在はどうでしょう。皆さんは足し算引き算ばかりではなく掛け算割り算、そして文章問題などを解くときは書いてあることを正確に理解する読解力を駆使して複雑な算数の問題を解くことができます。今でこそ「足し算？そんなのできるに決まってるじゃん」と思えますが、あなごころなかれ、足し算をするのが出来なければ、旅人算や鶴亀算といった複雑な問題は解くことは出来ないのです。つまり、**基礎の土台が脆いと何も積み上げることは出来ません。**

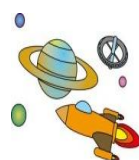
それは生き方を考えることについても同じです。生き方について考えるとき、私たちは自分の思考、経験によってしか土台を作ることが出来ません。その土台は自分の偏った考えや狭い視野に影響されているため、その土台はみんなの長い人生を支えるためには不十分なのです。ではどうするか？答えは簡単です。自分の力が及ばないときは他人に頼るのです。よく「人という字は…」とよく聞きますね。**他人の考えや創作物に触れることは皆さんの土台を強くします。**なぜならその他人の考え、創作物は皆さんの経験になり、土台を強くするからです。さて、ここまでできて何が言いたいのか察しがついた人もいるでしょう。

本を読みましょう。

この一言に尽きます。

この文章を読んで「なーんだ、また読書推進の記事か」と思った人、ちょっと待ってください。ここで読むか読まないかで六年後、合格発表の掲示板の前でのみんなの涙が、うれしいものなのか、悲しいものなのか決まるかもしれない。

そんなことを言われてもどんな本を読めばいいかわからないよ、とそんな声が聞こえてきそうですが大丈夫！下段を見れば答えはあります。



あなたが『当たり前』だと思っていること

それは他の人から見ても『当たり前』ですか？

あなたの『常識』はまったく別の意味を持つかもしれません

星新一という作家を知っているでしょうか。彼は四百字詰め原稿用紙にして十数枚程度のショートショートと呼ばれる小説形式を新たに作り、「ショートショートの神様」と呼ばれた人です。その彼の作品で今紹介するのは「ぼっこちゃん」です。この書名は収録されている全部で五十の作品のうちの一つで、本自体は全てショートショートの作品で構成されています。あまりに有名なのでもう既に読んだことがある人もいるかもしれませんね。

「ぼっこちゃん」は私が皆さんと同じ中学一年生の時に読んだ本で、当時、稲妻にあたったような衝撃を受けました。そして同時に読書の素晴らしさに目覚めるきっかけになった一冊です。収録されている「親愛キッス」というショートショートでは、地球人が、地球ではある意味を持つ行為を、チル星という地球外惑星で行うものの、それは違う星では全く別の意味を持つてしまうお話です。この話を読んだ当時の私は「今私が当りの前に思っている考え方は他の人からすれば、全く当たり前なものではないのかもしれない」とゾッとした覚えがあります。今思えば、他人と考え方が違うのは当たり前なのですが、視野の狭い当時の私にとって「世界」の全ては「私」と同じだと思っていました。この本に出会ったおかげで視野がぐんと広くなったといえます。もう読んだことがある！という人もいるかもしれませんが、もう一度読んでみるというのも読書の楽しみの一つです。私は夏目漱石の「こころ」を既に何回か読んでいますが、最近また読んでみました。すると現在の自分にしかわからない視点で新たな「こころ」の一面を発見でき、作品の切なさに涙しました。このように、本は何年たっても私たちに新しい一面を見せてくれます。また、他の星新一作品に挑戦してみましよう。明日には、自分の価値観を広げてくれる一冊に出会えるかもしれません。

次回は太田先生におすすめるの本を紹介していただきますーお楽しみに！

～連絡進学規定について～

芝浦柏中学校では下記の規定に基づき高校進学を許可しております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

芝浦工業大学柏中学高等学校

以下の条件を満たす者に、芝浦工業大学柏高等学校への連絡進学資格を与える

- ① 本校進学を第一志望とし、学校の方針を理解し指導に従うこと。
- ② 3年次前期の評定において、「1」である教科のないこと。
- ③ 3年次前期の出席日数が、出席すべき日数の3分の2に達していること。



～生徒向け学習ガイダンスより～

先日行われました、進路部長による生徒向け学習ガイダンスよりいくつかポイントを抜粋いたしました。

1. 未来を切り開くために…

- ・将来の自分は成長している。成長のためには勉強が必要。
- ・将来は何になるかわからない。したがって、何にでもなれるためにすべての準備。
- ・いらないものはやらなくてもいいという発想。しかし、いるかいないかは最後までやってみてから判断することである。
- ・話を聞く姿勢が大切。聞くためには姿勢・返事・メモが必須。



2. 勉強方法

- ・とかく私たちは「普段の勉強」「試験勉強」「受験勉強」とあたかもそれぞれ違った勉強であるかのように勉強をしてしまっているが、初めから大学受験勉強を意識した勉強方法をしていけばすべてに対応できる。
- ・勉強とは復習をこまめにし、知識を定着させることである。「その日」「1週間後」「1ヶ月後」に前の内容にさかのぼって覚えているか確認し、脳に定着させよう。そのために手帳を活用し、復習すべき日をあらかじめ計画を立てたり、試験日から逆算して学習計画を立てることが大切。

～連絡～

美術科 最近の絵の具はすぐ乾き、消えにくい顔料を使っています。美術の時間は基本的には制服を着ているので、制服に絵の具がつくと消えにくくなります。エプロンや白衣などがありましたら、制服汚れを防ぐためにもご用意いただければと思います。

夢実現のための十則

- 夢を持て。ない夢はかなわぬ。目標なく一生懸命やることに酔うな。
- やることを与えられるな。自分のために創り出し、形にして期限を決めよ。
- 他人と関われ。他人を理解しようとしろ。他人に理解される努力をしろ。
- 挨拶をせよ。人に気付き、人に気付いてもらえる。
- 毎日他人に奉仕しろ。心がきれいなら他人も応援してくれる。
- 話を聞く姿勢を作れ。聞く人には教えたくない。助けたくない。
- 書け。何度でも書き直せ。書かないことは考えていないこと。
- 自分と戦え。自分は見ている。人と戦うな。気にするな。自分が変われ。
- 大事なことは最初にやれ。優先順位を考えろ。タイミングを逃すな。
- 成功を繰返し、失敗を繰返さぬよう分析しろ。原因を五回さかのぼれ。